

	牧師 山本護	司式 青柳明美	奏楽 花曲琴音
前 奏	黙想		祈 禱
讃美歌	1 神のちからを		讃美歌 333 主よ、われをば
祈 禱			献 金
信仰告白	使徒信条 566		讃 詠 547 いまささぐるそなえものを
聖 書	申命記 30:11~14 ローマの信徒への手紙 10:5~9		黙 禱 主の祈り 564
讃美歌	242 なやむものよ		頌 栄 539 あめつちこぞりて
説 教	『私のこの口と心にキリスト』		祝 禱 後 奏

「口でイエスは主であると公に言い表し、心で神がイエスを死者の中から復活させられたと信じるなら、あなたは救われる(マ 10:9)。「心で信じる」とは、内心そう思っている程度ではなく「イエスの復活」を私の生と死にする事。また「口で公に言い表わす」とは、「イエスは主である」という告白が個人の枠を超え「私たち」そのものになる事。そんな私たちがキリストの名で祈り、礼拝を献げる。その時に「現われる」自由な結びつきが教会であり、教会規則はその自由さを保障するためのもの。

「イエスは主である」という告白は、キリスト信仰の中心であり、私たちが神の愛に向き直らせ、私たちの日常に深く関わる力となる。「私たち」という教会には不本意な強制はありえない。キリストによって生命が生き生きするはずの教会に、幾らかでも義務感めいた息苦しさを覚えるならば、それは同調圧力や自己規制といった人間の所業だ。ただ人間の生は、揺れ動いていて不純物を抱えやすい。だから、これがキリストからのものなのか、人間の所業なのかを、自戒しながら冷静に見分けたい。

「御言葉はあなたのごく近くにあり、あなたの口と心にあるのだから、それを行うことができる(申命 30:14)」。ゆえに「[だれか天に昇り、わたしたちのためにそれを取って来て聞かせてくれれば、それを行うことができるのだが] と言うには及ばない(30:12)」。ロマ書はこの律法を解して語る。私たちの「近くにあり、口と心にある(マ 10:8)」恵みの言葉は、キリストなのだ(10:6)。「イエスは主である(10:9)」というキリストは、私たちの生であり、死である(14:8~9)。それが救いなのだ(10:9)。

「旧約は律法(自力)、新約は福音(他力)」と分けて考える傾向がある。そして教会にも、ファリサイ派のように、決まり事に拘泥することで安定する者はいる。しかし律法のすべては、神から人間への救いの働きかけが初めてであった。人間から神へ、では決してない。だからロマ書の律法理解は、原点回帰と言えよう。踏み込み過ぎる読み方かもしれないが、ロマ書を著したパウロは「イエスは主である」真実を受けて力を得、それまで自分が深く生きて来た律法の原点にまで遡り得たのではないか。

こうして信仰の原点に注目すると、旧約聖書と新約聖書がひとつながりの文書だとリアルに感じる。部分的な記述の矛盾や食い違い、解釈や伝統の相違で一喜一憂するのではなく、大きく見渡すと「神から人間へ」という救いの方向が一貫していることが分る。そこに人間の所業、つまり「だれか海のかなたに渡り、それを取って来て聞かせてくれれば、それを行うことができるのだが(申命 30:13)」という人間主導の願望が入り込むと、神の律法が人間の律法になってしまう。これは、相当息苦しい。

「[“だれが底なしの淵に下るか” と言ってもならない]。これは、キリストを死者の中から引き上げることになる(マ 10:7)。「底なしの淵」とは文脈通り死のことだが、キリストは天(10:6)も死も超えて、私たちの口と心にやって来る。だから「御言葉はあなたのごく近くにあり、あなたの口と心にある(申命 30:14,マ 10:8)」。今私たちはこの地上にあって、キリストと結びついて天と死を超えている。

地上における御言葉の威力。私たちが「イエスは主である(10:9)」と告白する時、御言葉は私たち自身となる。己が狭い願望を超えるキリストの器となり、世の何事にも捕われない自由な一人となる。

肩や腰のコリを外側からの施術でほぐしていた しかし自らの動きでコリがほぐれることを知ったコリは頑なな個性 キリストによってコリはほぐされ 悲しみと喜びが私を超えていく(マ 12:15)

本日礼拝後に役員会をおこないます。1/14(土)1:30~3:00 聖書研究会。月報「いき」への寄稿、随時募集しています。申し出などは役員か牧師まで。牧師の動き:1/9 分区教師会(愛宕町教会)。

礼拝堂・集会所の住所: 408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ: 408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

メール komechan.olive@orange.zero.jp HPは「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。